

使用済み製品リサイクルの取り組み

資源循環型社会を実現するためには、資源を有効活用し、廃棄量を削減する必要があります。

このため沖電気では、使用済み製品のリサイクルについて、次の目標を設け、回収とリサイクルを実施しています。

■目標：使用済み製品リサイクル率96%を2002年度末までに達成する（全国ベース）

2001年度使用済み製品リサイクルの取り組み

2001年度の使用済み製品の回収はATM（現金自動預け払い機）を中心に2,265トンで、この内、リサイクル量は2,167トンでした。この結果、リサイクル率は全国で95.7%、回収量の多い関東地区では96.5%となりました。

2001年度は資源有効利用促進法（改正リサイクル法）に基づき、法人からの使用済パソコンの回収・リサイクルを、既存の沖電気リサイクルシステムで行うことをホームページに公開しました。また、使用済小形2次電池の回収・リサイクルシステムを構築し回収・リサイクルを開始しました。

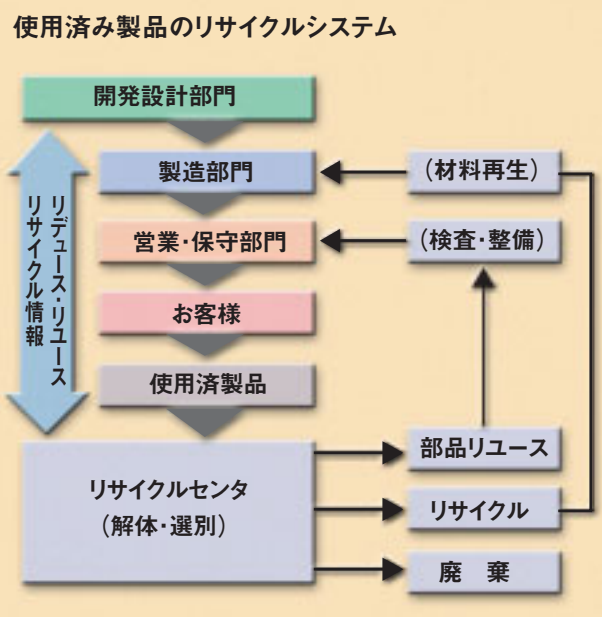
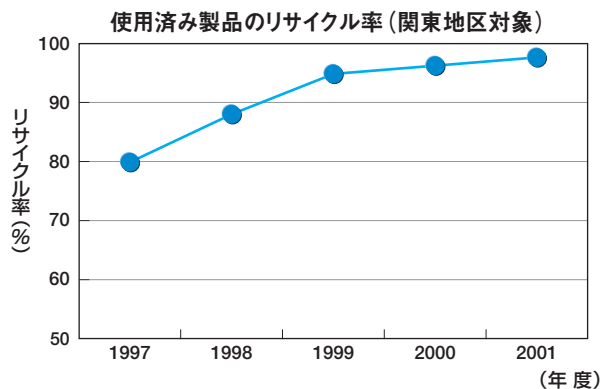
使用済み製品リサイクルシステム

沖電気では、使用済み製品の適正処理を確実にし、ノウハウを設計に生かすため、1999年に社内本庄地区に使用済み製品リサイクルシステムを構築しました。

その後、改善を加え、現在では、このシステムは、リサイクルセンタを中心に、右図に示すとおり、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）を機能させる構成になりました。

使用済み製品の「資源再利用率」試算

使用済み製品のリサイクル率には一般的にマテリアルリサイクルのほか、サーマルリサイクルが含まれます。環境への負荷を考慮すると、マテリアルリサイクルが望ましく、マテリアルリサイクルのみのリサイクル率（資源再利用率）の試算を行いました。通信機器（製品質



量240kg)をモデルに、リサイクル工程を最終段階まで追跡調査し算出しました。

結果は下表の通りで、製品質量の81～87%が資源として回収されることが判明しました。今後は、この「資源再利用率」の向上を推進します。

	解体部品・材料	回収資源	資源再利用率 (%)	総合資源再利用率
通信機器(100%)	基板（プリント基板、電子部品）	銅	2.8～7.1	81～87%
		鉄	0.3～1.4	
	金属部品（キャビネット、架など）	鉄	75.4	
	線材（銅線など）	銅	1.8～1.9	
	プラスチック部品（カバーなど）	—	—	

*微量な回収資源は対象外とする